

2019年3月27日

日本ユニシス
 AI 技術を活用し従業員の生産性や安全性確保を実現する
 「健康経営プラットフォーム」実証を開始

～ 実証先として東京メトロと合意。個人の行動マーケティングや地域活性化施策活用も視野に ～

日本ユニシスは、ヘルスケア関連のテクノロジー企業であるライフログテクノロジー（東京・港区）の画像分析 AI テクノロジーを駆使した個人向けヘルスケア アプリ「カロミル®」を活用し、企業に勤める従業員が食事の写真やバイタル情報を登録することで、企業が従業員の健康状態を把握し、各個人の体調や体質の向上改善を促すことができる、新たな視点での「健康経営プラットフォーム」の実証を東京地下鉄（東京・台東区：以下、東京メトロ）で開始します。

この「健康経営プラットフォーム」は、健康経営に取り組む企業を支援するだけでなく、個人向け商品やサービスを展開している企業において、顧客の健康行動や嗜好などを把握するためのマーケティング基盤としても活用可能です。

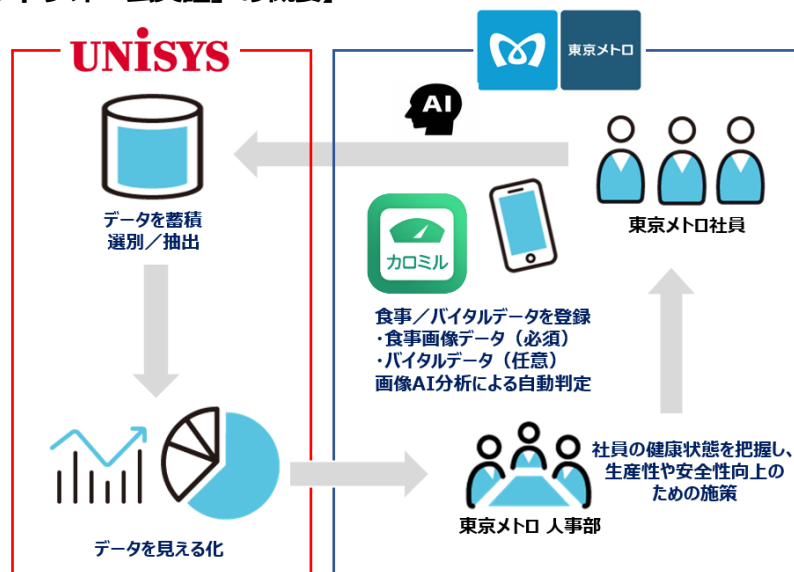
【背景】

昨今、健康経営が企業にとって重要な経営要素となり、健康経営を通じた従業員の健康維持増進と生産性向上や安全性確保を図ることが経営手法の一つになっています。

政府においても、経済産業省が、従業員の健康管理を経営的視点で捉え、戦略的に取り組んでいる企業を「健康経営優良法人」として選定したり、厚生労働省が、企業と従業員両方が「健康」を基盤とした経済活動がなされるよう「データヘルス計画」を健康保険組合に対して義務付けたり、さまざまな取り組みが進められています。

このような状況下、日本ユニシスは健康経営に取り組む企業を支援するため、AI 技術を活用した「健康経営プラットフォーム」の実証を東京メトロで開始します。

【「健康経営プラットフォーム実証」の概要】

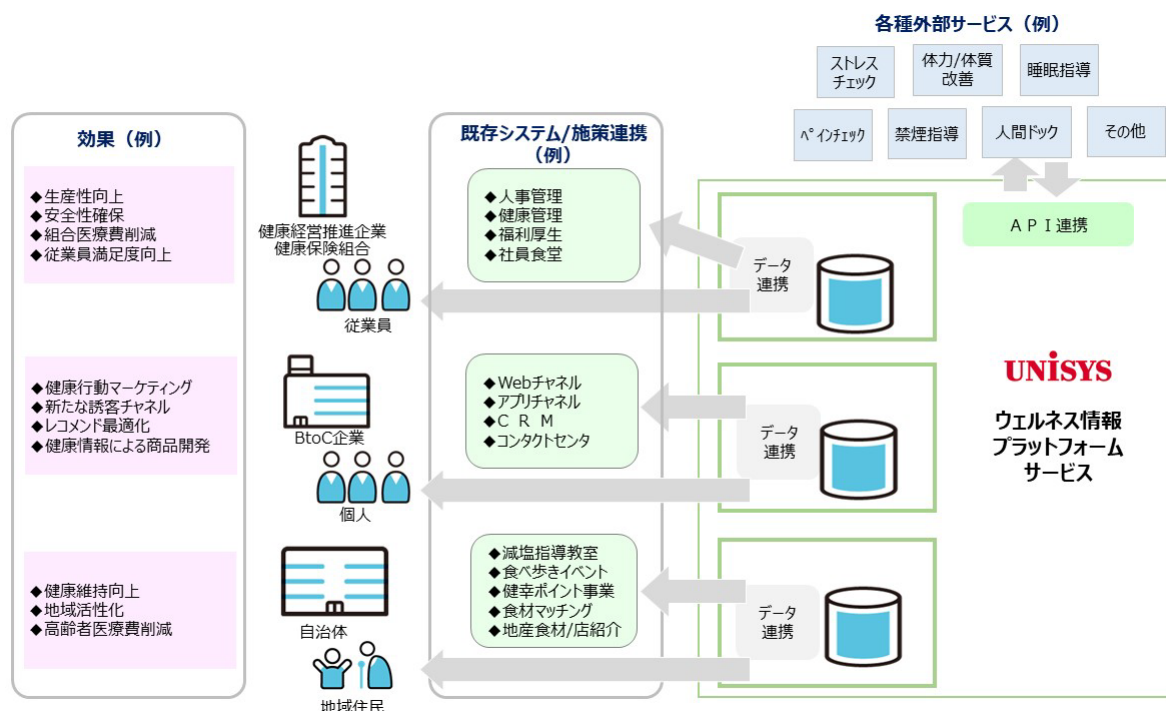


1. 従業員が、食事や血圧計・体重計・身長などをスマホで写真撮影します。撮影された食事や血圧計などの画像は、「カロミル®」が持つ画像分析 AI 機能により、従来の、都度での手入力や管理栄養士からの栄養素情報の回答を待つことなく、即座且つ高精度の判定率で、さまざまな栄養素数値やデジタル化されたバイタル数値に自動変換されます。

- 「カロミル®」に保有されたデータを蓄積し、市販のツールを用いてデータの見える化を行うことにより、組織別、職種別、拠点別などセグメントごとのさまざまな情報を、統計データとして逐次確認することができます。
- 企業は「健康経営プラットフォーム」から提供された統計データをもとに、従業員の健康状況をリアルタイムで把握することにより、業務中の生産性や安全性確保のための施策をタイムリーに行うことに役立っています。

【今後の展開】

日本ユニシスは、この「健康経営プラットフォーム」と、企業の人事システムや健康保険管理システムなど、基幹システムとの連携や、さまざまな外部のヘルスケアサービスを API で接続するなど、順次プラットフォームを拡大していきます。また、健康経営を推進する企業だけでなく、今まで取得が難しかった、個人の日々の行動情報を活用した新たな顧客マーケティングや、人と産業のマッチングチャンネルとしての活用など、さまざまな業種の企業・住民への健康施策や地域活性化を推進する自治体などへのサービス提供も検討していきます。



今後も日本ユニシスは、顧客・パートナーと共に、社会を豊かにする新しい価値の創造と社会課題の解決に取り組んでいきます。

以上

■カロミルとは

ライフログテクノロジー株式会社が提供する健康管理アプリであり、他の一般的な食事画像分析ソフト判定率と比較し、90%超という飛躍的な画像判定率を実現します。(日本国内での技術特許取得済) 画像解析 AI 技術 (料理か料理でないかの自動識別、体重計・血圧計などの撮影画像のデジタルデータ化) を駆使し、都度アプリを起動することなく、写真からカロリーや栄養素の、高精度での自動判定やバイタル情報のデジタル数値化を行います。

<https://calomeal.com/>

※カロミルは、ライフログテクノロジー株式会社の登録商標です。

※その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

<本ニュースリリースに関するお問い合わせ>

https://www.unisys.co.jp/newsrelease_contact/